

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

4月に全国の6年生が取り組んだ今年度の全国学力・学習状況調査の結果が発表され、一人一人の個票も返却しました。第二葛西小学校の6年生全体としては、次のような結果でした。

	二葛西小	東京都	全国
国語	71%	70%	67.7%
算数	63%	68%	63.4%

上の数字は国語、算数のそれぞれの平均正答率です。

国語では、言葉の特徴や使い方に関する内容、我が国の言語文化に関する内容、話すこと・聞くことに関する内容、読むことに関する内容などは東京都や全国の平均を上回っていました。一方で、書くことにかかわる内容についてはやや下回る傾向にありました。

算数では、多くの内容で東京都の平均を下回り、全国の平均と同じレベルとなっていました。変化と関係にかかわる問題では全国平均を少し上回り、データの活用にかかわる問題では全国平均を少し下回る結果となりました。また、算数については、解答を自分の文章で説明する問題で全国平均よりもよい結果となっていました。

なお、従来、第二葛西小学校の子どもたちは無回答の割合が高かったのですが、今年度は無回答が少なくなりました。あきらめずに粘り強く問題に取り組んでいった結果ではないかと推測しています。

全国学力・学習状況調査では、子どもたちに、生活にかかわるいくつかの質問をしています。

質 問 (抜 粋)	二葛西	東京都	全 国
学校以外で、普段、1日当たりどれくらいの時間、タブレットなどを勉強で使っているか<2時間以上と答えた子どもの割合>	9.8%	8.7%	7.5%
普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯やスマホでSNSや動画視聴などを行っているか<3時間以上と答えた子どもの割合>	33.4%	29.3%	33.8%
学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしているか<1時間以上と答えた子どもの割合>	54.6%	62.2%	54.6%
5年生までの授業では、課題の解決に向け、自分で考え、自分から取り組んでいたか<当てはまる、どちらかと言えば当てはまると答えた子どもの割合>	77.3%	81.8%	81.9%

学習は積み重ねです。そのとき学んでいることは前の学習が土台になっています。今、学んでいることはこれから先の学習を支えていきます。そのときそのときで確実に力をつけていかないと、先に進んだところでさまざまな困難に直面することになります。

今、学校では子どもたちが自分の力で学んでいくことも大切にしています。「やらされている」という気持ちは学習の大きな妨げになります。「こういうことを、こんなふうに学んでいきたい」という意欲は子どもたちの力を大きく高めていきます。同時に「こういうことを、こんなふうに学んでいきたい」という意欲をもとに取り組んでいくためには、一定の基礎学力が必要です。たし算、引き算、かけ算、わり算のやり方を確実なものにしておくこと、言葉や文章の意味の理解、基本的な表現の方法を身に付けておくことなどが一人一人の学びの基盤になります。

そこで教室では授業や朝学習の時間に基礎的な学習を繰り返し取り組んでいます。たとえば東京都が作成したベーシックな内容のドリルに取り組んだり、高学年では新聞記事などの読解を行ったりしています。また、一人一人の状況、課題に応じた学習を展開していくためにタブレット端末を活用するなどしています。

一人一人の子どもが、自分の学びたいこと、取り組んでみたいことに向かっていくことができるように、学ぶ意欲の向上とともに、その意欲を実現につながる基礎学力の定着にこれからも取り組んでいきたいと思えます。